

## e スポーツを通して選手と生徒を繋ぐナイスプレイ

|          |           |    |        |                |          |     |
|----------|-----------|----|--------|----------------|----------|-----|
| 事業<br>分類 | 姉妹<br>都市  | 教育 | 文化     | スポーツ           | 保健・福祉・医療 | 経済  |
|          |           | 行政 | ホストタウン | 外国人技能実習        | オンライン    | その他 |
| 自治体      | 日本：福島県郡山市 |    |        | 海外：オランダ王国ブルメン市 |          |     |

## 【事例紹介】

## 交流の概要

郡山市とブルメン市の縁は 1879 年、猪苗代湖の水を本市に導く安積疏水開削事業に尽力したオランダ人技師ファン・ドールンの生誕地がブルメン市であることに由来する。1979 年 6 月当市はオランダにファン・ドールンの墓碑を再建し、1987 年 6 月にブルメン市長等を招待しファン・ドールン生誕 150 年記念事業を実施したが、このときブルメン市長より姉妹都市提携の意向が表明され、1988 年 6 月姉妹都市の盟約を結ぶに至った。それがきっかけで 2016 年 1 月にオランダのホストタウンに登録となった。



ブルメン市庁舎

今回のホストタウン交流事業は、サッカーの強豪国である「オランダ」と、子ども達に人気のサッカーを通じた交流を実施したいという思いから始まり、日本とオランダに縁があり、オランダで活躍する際（さい）選手に講師をお願いし、開催する運びとなった。2017 年から対面式で交流を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今回初の試みとなる e スポーツの交流を含めて通算 5 回目となる。

## 講師紹介

ファン・ウェルメスケルケン・際（さい）選手（オランダ PEC ズウォレに所属）

オランダ・マーストリヒト市出身、1994 年生まれ。（父オランダ人、母：日本人）2 歳のときに渡日し、2008 年から 6 年間はヴァンフォーレ甲府の下部組織に配属。高校卒業後、単身でオランダに渡り FC ドルトレヒトに入団。2015 年プロ契約。2016 年 U-23 日本代表メンバーに初招集される。



## 交流事業の特色

ホストタウン相手国であるオランダ王国の際選手を招き、同国でも人気の高いサッカーのオンライン教室を開催し、オランダサッカーの考え方等に触れることで国際理解を深める。

福島県郡山市：<http://www.city.koriyama.lg.jp>

### 交流事業の内容

2021年12月21日（火）に開催されたこの交流事業は、郡山市内にある緑ヶ丘中学校とオランダをオンラインで繋ぎ、同校のサッカー部員17名が参加した。

まずは、講師の際選手と打ち解け、場を和ませるため、講師が選手登録されている世界的に人気のあるサッカーゲーム（FIFA 21）で対戦を行った。参加者は1チームを複数人（2～4人）で操作し、オンラインで講師と白熱した試合を繰り返した。参加者からは「プロのサッカー選手とゲームで交流できて楽しかった」などの声があった。20分という限られた時間ではあったが、全部員が交代をしながら際選手と楽しくゲームをプレイすることができ、このeスポーツ交流は大いに盛り上がった。



e スポーツ交流の様子

続いて、40分にわたる質疑応答の時間が設けられ、参加のサッカー部員らは積極的に手を上げ質問をした。中には「体の大きい選手に対応するにはどうすればいいか？」という質問に対し、際選手は「戦い方は人それぞれ。自分のプレイスタイルを磨けば、自分より体の大きい選手とも戦える」と答えた。その他、守備の動きなどの細かいアドバイスや練習の取り組み方、さらには進路相談についての質問が挙がった。

最後に、際選手に御礼の言葉が述べられ、記念撮影を行った無事にオンラインの国際交流サッカー教室が終了した。



質疑応答の様子

### 担当者のコメント

質疑応答では、生徒らが積極的に際選手に質問をしたりする場面が多く、参加者のサッカーに対する熱意を感じるとともに、オランダサッカーを身近に感じる国際交流ができた。

### まとめ

新型コロナウイルス感染症が未だに猛威を振るう中、対面実施か延期またはキャンセルの2択しかないと考えられてきたスポーツの国際交流だが、このように対面式でなくとも、有意義な国際的なスポーツ交流は十分可能であることがわかった。eスポーツを通して参加者同士の距離が縮まり、ゲームを楽しむことが、ひいては海外の文化や考え方に触れること、サッカーへのモチベーションを上げること、様々な刺激をうけることに繋がるなど、当事業の可能性は未知数である、と筆者は思う。

## 【(参考) 姉妹都市の概要】

|    | 郡山市の概要   | オランダ王国ブルメン市の概要   |
|----|--|--|
| 人口 | 約 324,000 人  | 約 21,000 人   |
| 面積 | 757.20 平方 km   | 約 84.3 平方 km   |
| 概況 | <p>福島県の中央に位置し、首都圏から東北新幹線で約 80 分というアクセスの良さに加え、鉄道や東北・磐越自動車道が縦横に交差するなど、交通の利便性が良いことから、「人」「モノ」「情報」がつながり、交流する「経済県都」「知の結節点」として発展を続けている。</p> <p>日本遺産「一本の水路」に代表される歴史と風土を受け継ぎつつ、国内外との交流により魅力を発信している。</p> | <p>オランダ王国ブルメン市は、ヘルダーランド州の中心部にあり、首都アムステルダムから東方約 110 キロメートルに位置している。</p> <p>フェーリュウウェ森林公園地帯とエイセル川に挟まれた地域で、オランダで最も美しいまちの 1 つである。ブルメン市には、各種の産業があり、オランダにおける製紙、カートン、包装紙産業の中心地でもある。</p> |

## 【姉妹都市交流に係る周辺情報】

|           |   |
|-----------|---|
| 提携年月日     | 1988/06/25  |
| 姉妹都市提携の経緯 | <p>安積疏水の開削に尽力をしたブルメン市のハル地区出身のコルネリス・ヨハネス・ファン・ドールンが郡山の地に初めて足を踏み入れたのは明治 11 年 11 月。当時、土木局長工師（ちょうこうし）という技術者として最高の地位にあったファン・ドールンは、政府の依頼で利根川の治水調査、大阪淀川など数々の港湾建設、河川改修工事を手がけていた。政府は、猪苗代湖の水を安積平野へ引くため、数あるコースの中から、沼上峠コースの調査・設計を彼に依頼した。</p> <p>明治 12 年から開始された工事は、明治 15 年 8 月に完成、同年 10 月に通水式が行われた。彼は、安積疏水の完成を見ることなく明治 13 年に帰国しているが、今日の郡山市発展の礎を築いた人物として欠かすことが出来ない。</p> <p>これら、ファン・ドールンの偉業は、後世に伝えられ、昭和 54 年、アムステルダム市に墓碑が再建された。これを機に本市とブルメン市との友好が進み、昭和 63 年 6 月、ファン・ドールンの偉業が姉妹都市へと両市を結びつけた。</p> |

《フォーラム等で掲載されている場合は記載》

(作成年月：2022 年 7 月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。